# 社会を明るくする運動

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」。市内の小中高校生を対象に犯罪や非行のない地域社会づくりをテーマに作文を募集しました。広報きくち9月～11月で各部門の最優秀作文を紹介します。

高校生の部最優秀作文

## 私のスーパーヒーローはおじいちゃん

菊池女子高校2年　福嶋明日香さん

私は友達付き合いが苦手です。そんな私が尊敬しているのはおじいちゃんです。おじいちゃんは友達がたくさんいます。家に来られる人全員仲良しです。なんでそんなに仲が良いのだろうと、とても不思議になって聞いてみました。

「なんでそんなに友達が多いと？」

「それが不思議と分からんとよ。ばあちゃんに言われたことはね、良いところを見つける達人だよってことくらいかねぇ」

と、優しく笑いながら教えてくれました。おじいちゃんは確かに何をしても褒めてくれて一緒に喜んでくれて、否定を一切しない人でした。一緒にいるだけで幸せになれるおじいちゃん。その日からもっと大好きになりました。

２０２４年２月。おじいちゃんは仏様になりました。最後までにこにこしながら話をしてくれたこと、心配かけないように接してくれたこと。忘れることはないです。

そして通夜、葬儀の日、おじいちゃんのお友達がたくさん来てくださいました。全国各地からです。学生時代のご友人の方、会社に勤めていた頃の後輩の方、近所の方。私が想像していたより2倍近くの方がおじいちゃんとの最期の時を過ごしてくださいました。一通り葬儀が終わり、お見送りをしていた時、ある1人の方が私たちに声を掛けてくださいました。

「あなたのおじいちゃんはね、僕のことを助けてくれたんだよ。学生時代一人だった僕に声を掛けてくれたのがおじいちゃんでね、友達がいない僕になんで声を掛けてくれたのか聞いたの。どうせ可哀想だからとか言われると思っていたんだけどね、『一人で勉強しているのがとても素晴らしいと思って、教えてほしいな』と声を掛けてくれたんだよ。僕には勉強しか取り柄がなかったから嬉しくてね。ありがとうって伝えそびれたから息子さんや孫ちゃんたちには伝えたくて。話聞いてくれてありがとう」

と言われました。その後も、

「おじいちゃんはとても優しくて明るくてね、差別もしない良い人でね。何回助けてもらったことか」

「おじいちゃんのあいさつで元気が出てたんだよ」

「踏み外した道を戻してくれたのは全部おじいちゃんだったんだよ」

と、私の知らなかった一面をたくさん話してくださいました。

出棺の時、みんな「ありがとう」と声を掛けている姿を見て、おじいちゃんみたいな人になろうと心に決めました。

私は今までの社会を明るくする運動の活動を通してあいさつの重要さや、地域の方々とのつながりが大切だと考えてきましたが、こんなに近くにいるとは思いませんでした。私が住んでいる地域を明るくしていたのはおじいちゃんといっても過言ではないのではないかと思います。

人助けもする、地域の方々とのコミュニケーションも忘れない、昔からのご友人も大切にして。こんなに自慢できるおじいちゃんで、なんだか私も誇らしいです。もう少し一緒にいたかったし、お話もたくさん聞きたかったけれど、落ち込んでいるひまはありません。私がおじいちゃんの代わりになります。

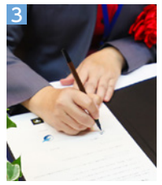
おじいちゃんに認めてもらえるように、あいさつやコミュニケーションを忘れず、だれも置いていかない環境づくりを頑張ります。天国から見ててね。私のスーパーヒーロー。

台湾 宜蘭市　鹿児島県さつま町　鹿児島県龍郷町　菊 池 市

# 国際交流促進覚書を締結

菊池市と台湾・宜蘭市に、鹿児島県さつま町と龍郷町を加えた4者は9月26日に国際交流を促進する覚書を結びました。今後、観光や教育分野などの多くの分野で交流を進め、連携を深めていきます。

【問い合わせ先】市長公室広報交流係 ☎0968(25)7252



1_㊧からさつま町の上野俊市町長、江頭実市長、宜蘭市の陳美玲市長、龍郷町の竹田泰典町長　2・3_締結式には2市2町から総勢59人が出席。また、同会場で行われた交流会には66人が参加し、交流を深めました

## 「西郷家」が縁で交流

菊池市、鹿児島県のさつま町と龍郷町、台湾の宜蘭市を加えた4自治体は、国際交流促進覚書（ＭＯＵ）を交わしました。

本市と3市町の縁は、西郷隆盛の長男・菊次郎にあります。菊次郎は隆盛が幕府の弾圧を逃れて3年間潜伏した奄美大島の龍郷町で島の娘・愛加那との間に生まれました。

後に日本統治時代の宜蘭庁長（知事）を務め、「宜蘭堤防」の名で呼ばれる堤防を築きました。帰国後は、京都市長を経て、さつま町で旧永野金山鉱業館長に就任。青少年の育成のために夜学校を開くなど、人材育成に努めました。

隆盛の祖先は菊池一族といわれていて、龍郷町で潜伏した際は「菊池源吾」と名乗っていました。

## 観光や教育分野など、さらなる交流を目指して

４自治体は、平成30年に交流宣言を行いましたが、新型コロナウイルスの影響で本格的な交流は止まっていました。

今回、台湾積体電路製造（ＴＳＭＣ）の菊陽町進出や熊本空港新旅客ターミナル開業を機に、本市の議員団が令和5年に宜蘭市を訪問。各市町に交流促進を呼び掛けていました。

締結式は菊池グランドホテルで行われ、4首長が出席。今後、観光や教育分野の相互交流を通じて人材育成を進め、農産物や特産品の物流も強化していくことを決めました。

宜蘭市の陳美玲市長は「台湾から熊本に移住する人も多くいます。さまざまな分野で、ウィンウィンな関係を築きましょう」と話しました。

DATA
面　積：29.408km²
総人口：9万4,966人
世　帯：3万8,613戸
※2024年7月現在

宜蘭市は台湾北部の地方都市。農業が盛んで土地と水源に恵まれており、コメやネギなどが有名。日本様式の建物もあり、台湾と日本の文化が融合したような雰囲気がある町です。